



フィールドワークを通じて 新たな熊野の魅力を発見

12月11日(金)～13日(日)、地域課題の解決に継続的に取り組む関係人口づくりをする講座「熊野リボンプログジェクト」のフィールドワークが実施されました。参加者は、土地の歴史や文化に触れながら山を歩く低山トラベラーと呼ばれる登山者で首都圏在住の15名。地域住民と関わりながら、熊野の文化に深く関わる林業・狩猟・農業の体験や見学、熊野古道歩きをしました。

今後、これらの講座を通じて、関係人口の拡大や地域課題解決に向けて取り組んでいきます。



1月2日(土)、扇ヶ浜海水浴場で第95回新春初泳ぎが開催されました。安全祈願の神事が行われた後、約100名が海へ飛び込みました。干支にちなみ牛の被り物を身に着けた方も多くいました。

笑顔が彩るまちのたより
みんなの彩時記



12月23日(日)、tanabe en+ でたなペプチ起業塾が開催されました。12名が参加し、地域の課題をきっかけにして、自分の好きなことを生かした小さな仕事を創り出す方法を学びました。



1月7日(日)、ふるさと自然公園センターで自然観察教室「七草粥を作ろう」が開催されました。専門員に教わりながら七草を収穫した後、用意されていた七草粥を食べて体を温めました。

35年目の弁慶市 新たな歴史の幕あけ

12月20日(日)、闘雞神社から扇ヶ浜公園カッパークに会場を移して初めての弁慶市が開催されました。会場の移転を祝して、弁慶鬼若太鼓の演奏が行われるなど、会場は大変な賑わいとなりました。

店頭で接客をしていた男の子にお話を聞くと「小学校2年生の時から、弁慶市でお店の手伝いをしています。商品の紹介もお客さんの呼び込みもできます！弁慶市はたくさんの方がいてとても楽しいです！」と元気よく答えてくれました。



12月19日(土)～21日(日)、龍神市民センターで第1回龍神村龍の造形大賞の展示会が行われました。会場には、龍をテーマにした個性豊かな造形作品が約140点展示されました。



1月9日(土)、スポーツパークで第47回新春田辺長距離走大会が開催されました。寒空の中、参加した小学生から一般の部までの273名が走り抜けました。